

## 天声人語

断崖絶壁、自殺の名所と呼ばれた福井県・東尋坊を歩き、話しかけ、死ぬのを思いとどまらせる。そんなNPO活動を続けているのが、元警察官の茂幸雄さんである。これまで何人もの命を救ってきた▼みんな本当は、まだ死にたくはない。ひとりで歩くことができなくなり、誰か杖の代わりになってくれる人を待っているのだ――。著書『自殺したらあかん!』で述べている。だから声をかけて、悩みを聞く。ときには家庭や職場に入り込むこともあり、「同伴活動」と称している▼絶望のふちにいる人に、寄り添うことがいかに力になるか。しかしそんな態度がもし偽りで、罵<sup>のの</sup>だつたら。神奈川県座間市で9人の遺体が見つかったあまりにむごい事件である。亡くなつた人たちの身元が明らかになつた▼夢は漫画家。小説好き。アルバイトを始めた……。報じられるのは、何でもない日常である。どこかで迷いがあり、いつたんは死に引き寄せられたかもしれない。しかし「本当に死にたいと考えている人はいなかつた」。そんな容疑者の供述に慄然とする▼あらゆる感情をのみ込むインターネット空間である。友人でも家族でもなく、虚空に向かって「死にたい」とつぶやいたときのつらさを想像する。そこに網を張り、命と未来を断ち切つたとすれば、卑劣という言葉ではとても言い足りない▼彼女たちのSOSがほかの誰かに届くことがなかつたのを悔やむ。もう一度と、もう一度と、もう二度と。声に出してそうつぶやく。

2017・11・11